



GENDAI AGENCY Inc.

**ゲンダイエージェンシー株式会社**

2024年7月19日

# 2025年3月期第1四半期決算説明資料



- ◆ 売上高、売上総利益は、一旦、一昨年(2023年3月期)第1四半期水準まで回復
- ◆ 2023年10月に急減したインターネット広告は回復基調
- ◆ パチンコホールの広告費削減傾向は継続
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は引き続き順調に成長
- ◆ 売上高及び各段階利益は前年同期比で下回る  
(※前年同期はスマート遊技機の話題機種による特需あり)
- ◆ 人的資本への投資の結果、人件費の増加を主因として販売費及び一般管理費は前年同期を上回り推移

# 2025年3月期 第1四半期業績の状況(対前期比)

(単位:百万円)

	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	1,963	100.0%	1,889	100.0%	-73	-3.8%
(参考)総取扱高※	2,199	-	2,074	-	-124	-5.7%
売上総利益	587	29.9%	566	30.0%	-21	-3.6%
営業利益	99	5.1%	64	3.4%	-34	-34.8%
経常利益	98	5.0%	70	3.7%	-28	-28.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	76	3.9%	40	2.1%	-36	-47.4%

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

## > 結果

- ◆ 売上高、各段階利益は前年同期を下回る(※前年同期はスマート遊技機の話題機種による特需あり)
- ◆ 低迷した2024年3月期下期からは回復基調、売上高、売上総利益は一昨年同期水準まで回復

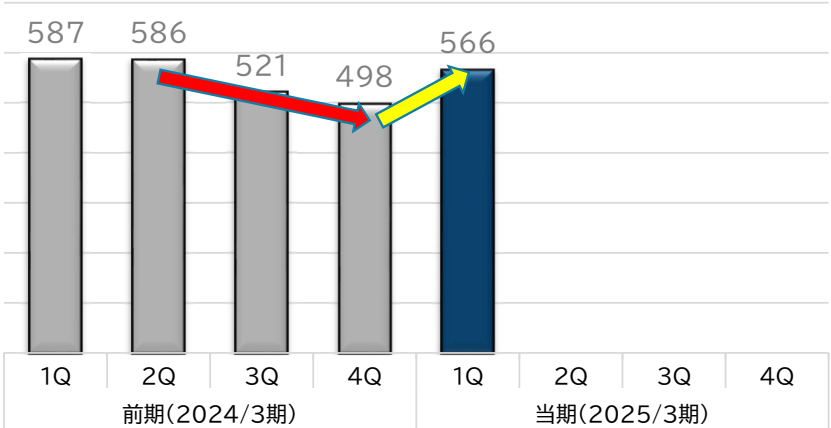
## > 要因

- ◆ パチンコホール施設の広告費削減傾向は継続、特に紙媒体が減少
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は堅調に推移
- ◆ 期首の人員増、賃上げ等により人件費が増加

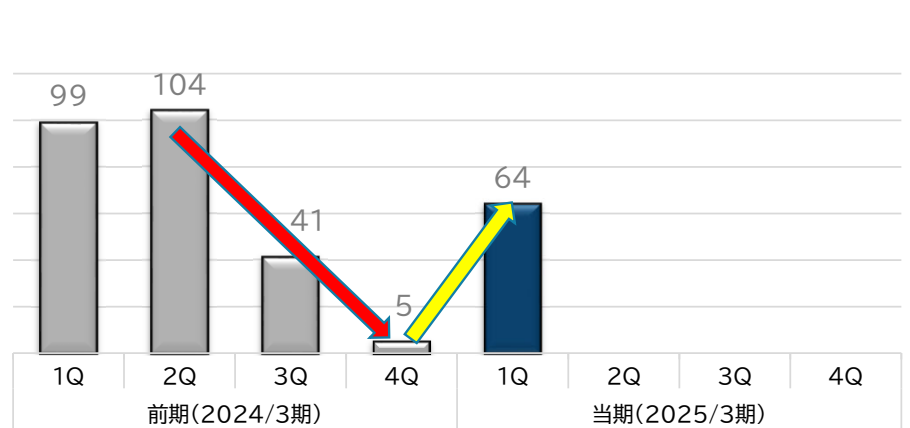
# 四半期 売上総利益・営業利益の状況(対前期比)



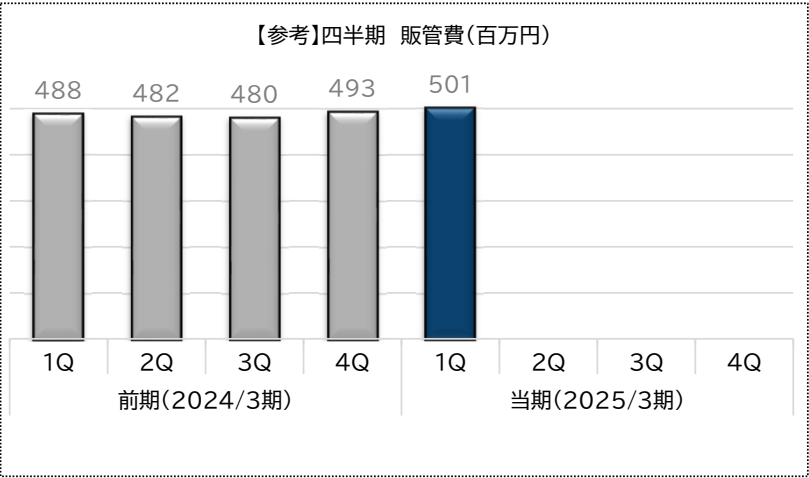
四半期 売上総利益(百万円)



四半期 営業利益(百万円)



【参考】四半期 販管費(百万円)



- ◆ 売上総利益、営業利益は前年同期を下回ったものの、前期3Q、4Qの低迷からは回復基調
- ◆ 期首の人員増、賃上実施等により販売費及び一般管理費は増加

# 事業の種類別セグメントの状況

## 【当累計期間】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	1,874	13	1	—	1,889
セグメント利益	130	4	-0	-68	64

## 【前年同期比】

	広告事業	不動産事業	その他	調整額	(単位:百万円) 連結
売上高	-71	-2	+0	—	-73
セグメント利益	-30	-0	+1	-4	-34

- ◆ 広告事業はパチンコホール広告分野が減少
- ◆ 売上高の減少に加え、人件費の増加等によりセグメント利益は減少

# セグメント損益(広告事業)

広告事業	(単位:百万円)			
	前第1四半期	当第1四半期	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	1,946	1,874	-71	-3.7%
(参考)総取扱高※	2,182	2,059	-122	-5.6%
セグメント利益	160	130	-30	-18.9%

※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

## 外部環境>

### ◆ パチンコホール施設:

- ・スマート遊技機等が普及し業界活性化に期待
- ・スマート遊技機、新紙幣対応等の投資資金確保のため、広告費の抑制は継続
- ・2024年2月にパチンコ業界4団体から発出された「広告宣伝ガイドライン第二版」により、広告手法や集客支援の実施可能な範囲が明確化

### ◆ パチンコホール以外の広告分野:

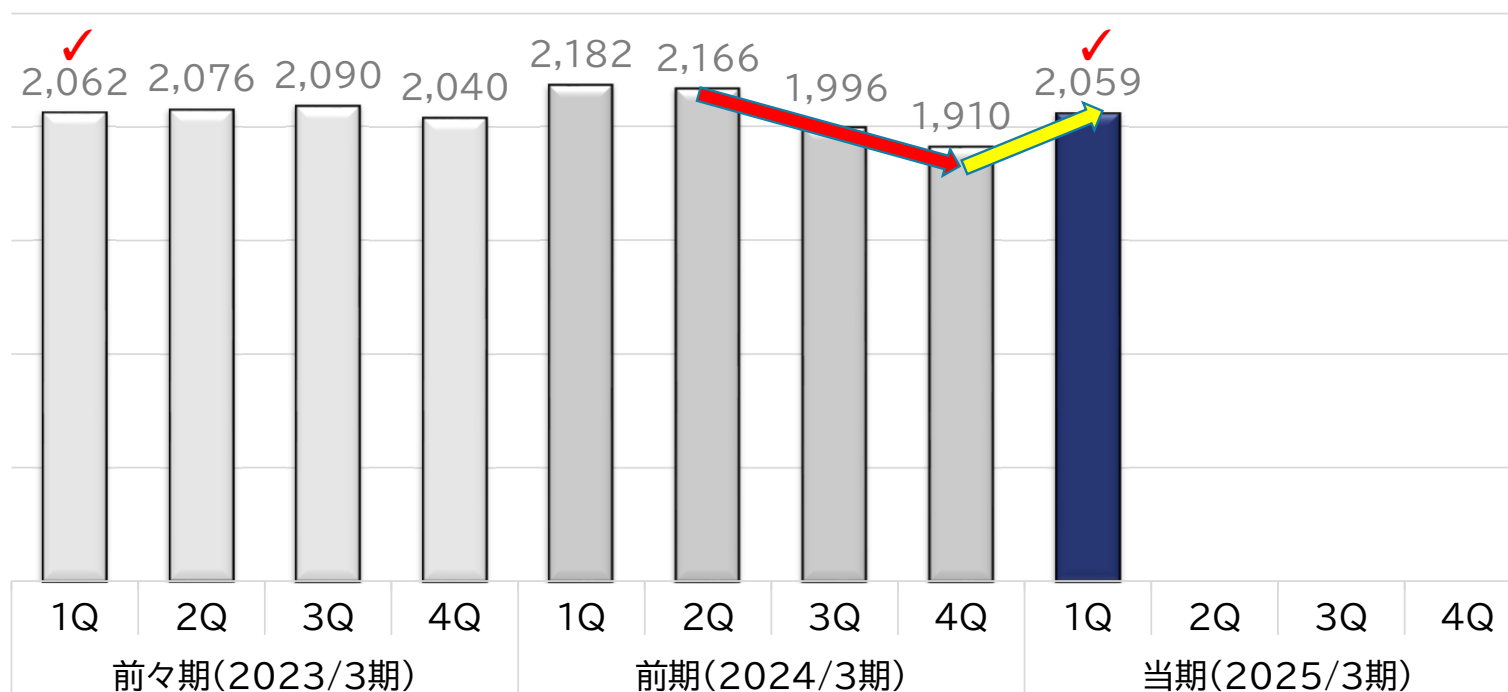
- ・広告需要は増加基調

## 当社グループの取り組み>

- ◆ ガイドラインに則った集客支援広告、サービスの開発、拡販
- ◆ 広告需要の伸びが期待されるセクターにおける顧客開拓をより積極的に推進

# 【参考】四半期総取扱高の推移(広告事業)

広告事業 四半期総取扱高の推移(百万円)



※総取扱高は、代理人取引を取引総額で計上したものです。

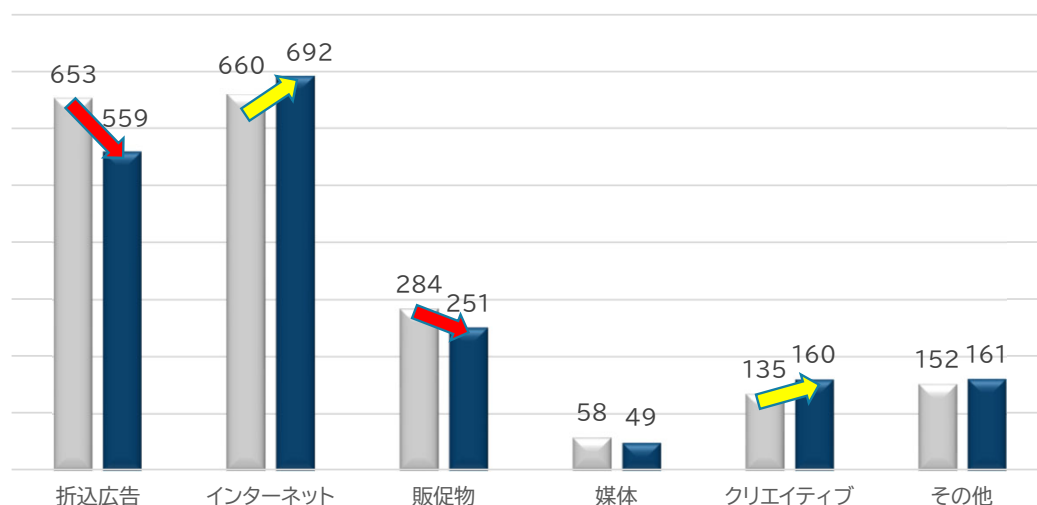
- ◆ 低迷した2024年3月期3Q、4Qからは回復基調
- ◆ 総取扱高は一昨年(2023年3月期)第1四半期水準まで回復
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は堅調に推移

# 品目別売上高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前第1四半期		当第1四半期		前年同期比		
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	構成比変動
折込広告	653	33.6%	559	29.9%	-94	-14.4%	-3.7 pt
インターネット	660	33.9%	692	37.0%	31	4.8%	3.1 pt
販促物	284	14.6%	251	13.4%	-32	-11.6%	-1.2 pt
媒体	58	3.0%	49	2.6%	-9	-16.2%	-0.4 pt
クリエイティブ	135	6.9%	160	8.5%	24	18.0%	1.6 pt
その他	152	7.8%	161	8.6%	8	5.7%	0.8 pt
<b>合計</b>	<b>1,946</b>	<b>100.0%</b>	<b>1,874</b>	<b>100.0%</b>	<b>-71</b>	<b>-3.7%</b>	

品目別売上高(百万円)



- ◆ 紙媒体は引き続き減少トレンド
- ◆ インターネット広告は回復基調にあり、前年同期を上回る



# 業種別総取扱高の状況(広告事業)

(単位:百万円)

	前第1四半期		当第1四半期		差異	
	金額	構成比	金額	構成比	差異額	増減率
パチンコホール広告分野	1,317	60.4%	1,141	55.4%	-176	-13.4%
パチンコホール以外の広告分野	864	39.6%	918	44.6%	54	6.3%
合計	2,182	100.0%	2,059	100.0%	-122	-5.6%

前第1四半期

当第1四半期



- ◆ 前年は話題機種が発売による特需があったこともあり、パチンコホール広告は前年同期を下回る
- ◆ パチンコホール以外の広告分野は引き続き順調に増加

# セグメント損益(不動産事業)

不動産事業	前年同期比			
	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
売上高	15	13	-2	-14.5%
営業費用	11	9	-2	-18.2%
セグメント利益	4	4	-0	-14.4%

- ◆ 所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益のほか、賃貸仲介物件の引き渡し等に伴う手数料収益0百万円を計上
- ◆ 結果、売上高は13百万円(前年同期比14.5%減)  
セグメント利益は4百万円(前年同期比14.4%減)

# 連結貸借対照表

	前期末 (A)	当第1四半期末 (B)	(単位:百万円) 差額 (B)-(A)
現金及び預金	3,438	3,332	-105
売上債権	976	945	-30
その他流動資産	75	90	15
有形・無形固定資産	720	707	-12
投資その他資産	218	201	-16
<b>資産合計</b>	<b>5,428</b>	<b>5,278</b>	<b>-149</b>
買掛金	534	503	-31
短期・長期借入金	562	525	-37
未払法人税等	42	19	-22
その他の負債	203	217	14
<b>負債合計</b>	<b>1,342</b>	<b>1,265</b>	<b>-77</b>
株主資本	4,080	4,009	-70
その他	5	3	-1
<b>純資産合計</b>	<b>4,085</b>	<b>4,013</b>	<b>-71</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>5,428</b>	<b>5,278</b>	<b>-149</b>

.....→ 利益配当による減少

.....→ 返済による減少

.....→ [・当四半期純利益+40百万円  
・前期決算に係る期末配当△110百万円]

# 連結業績予想進捗状況

(単位:百万円)

	業績予想※	当第1四半期実績	進捗率
売上高	7,500	1,889	25.2%
営業利益	300	64	21.6%
経常利益	300	70	23.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	220	40	18.4%

※2024年4月19日公表予想

- ◆ 当第1四半期連結会計期間の業績は、概ね当初計画どおりに進捗しております。よって、現時点における通期連結業績予想の修正はありません。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・IR窓口 管理部

URL. <https://www.gendai-a.co.jp/ir/contact/index.php>

Tel. 03-5358-3334

